

第二次瑞浪市環境基本計画(後期)施策進捗状況

基本目標	基本施策	具体的施策	数値説明	担当課	実績値			目標値 (令和5年度)	進捗状況
					平成28年度	平成29年度	平成30年度		
1 瑞浪市の 風土の基 盤である 里地・里 山や河川 等水辺の 維持・保 全を図り ます		地元の農畜産物を食べるように心がけている市民の割合		農林課	72.8%	69.5%	55.7%	77.4%	農産物直売所きなあた瑞浪で地産地消のPRを行い、学校給食の地元野菜使用を推進することで、地元野菜への意識を高めます。また、野菜づくりの勉強会や収穫体験等を通じて、地元野菜の美味しさを伝えます。
	① 里山の保全 と活用	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律に基づく被害防止計画を策定し、鳥獣被害対策実施隊による加害鳥獣の駆除を行います。	年間被害額	農林課	116.1万円/年	112万円/年	186万円/年	0円/年	ワイヤーメッシュの材料支給を行い、令和5年度に年間被害額は、0円になる計画となっています。ワイヤーメッシュの申し込みが多くあるため、被害額は減少する見込みです。
			被害防止計画 駆除頭数	農林課	700頭/年	681頭/年	686頭/年	700頭/年	駆除されたイノシシ（ニホンジカ等含む）は毎年700頭弱と目標値に近い頭数で推移しています。ただし、令和元年度は豚コレラの影響があり、捕獲頭数が減少します。
	② 食と生命を 支える農地 の保全と修 復	農産物等直売所出荷登録者数を増やします。	登録者数	農林課	189人	190人	196人	230人	野菜づくり塾や地域の勉強会を通じて生産者を増やし、登録者数の増加を図っています。
		優良農地の現状を維持若しくは面積を増やします。	ほ場整備面積	農林課	389.0ha (累計)	395.24ha (累計)	400.00ha (累計)	406.5ha (累計)	岐阜県が実施主体となり、鶴城ほ場整備が実施されており、令和2年度を最終年度とし、順調に施行されています。
	③ 地域の水循 環の保全と 修復	所有する森林に対する補助事業等を活用し、間伐等の整備を行います。	間伐面積	農林課	556.27 ha (累計)	672.08ha (累計)	779.78ha (累計)	800.00ha (累計)	ぎふ森林環境税の伐採事業や、林業経営者による間伐が行われており、目標を達成する見込みとなっています。
ため池整備事業を活用した農業用ため池の整備を行うとともに、災害防止のため、利用のなくなったため池の廃止を行います。		整備及び廃止件数	農林課	廃止措置 未実施	0箇所	0箇所	未利用ため池の調査結果に基づき令和元年度以降順次廃止	受益のないため池を調査中です。	
④ 多様な動植 物の生息・ 生育環境の 保全と創出	生物多様性の保全のため、特定外来生物の調査や駆除を行います。	オオキンケイギク 駆除重量	環境課	90kg/年 ※乾燥後の重量 になります	190kg/年 ※乾燥後の重量 になります	970kg/年	1,500kg/年	駆除後の乾燥状態により重量が大きく異なるため、平成30年度より乾燥前の重量に目標値を修正しました。土岐川河川清掃時に駆除を行っており、国道（瑞浪国道維持出張所）、県道（多治見土木事務所）、市道（瑞浪市役所土木課）、民間エリアについても発見次第、所有者（管理者）に駆除をお願いしています。今後も啓発等を行い、駆除拡大を図ります。	
2 市民一人 ひとりが 環境に配 慮し行動 すること で、生活 の質の向 上につな げます		ごみの4R活動に取り組んでいる市民の割合		環境課	76.4%	77.6%	68.6%	81.0%	平成29年度より9.0%減少しています。広報、環境フェア等で周知を図り、増加に努めます。
		省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしている市民の割合		環境課	50.0%	51.2%	49.0%	59.1%	令和元年度から蓄電システム、次世代自動車充電システム（V2H）等に補助金を交付しています。広報や環境フェア等で周知を行い、普及を推進していきます。
		水洗化推進により、市内の川、身近な水路がきれいになったと感じている市民の割合		上下水道課	63.5%	64.8%	71.4%	66.3%	目標値を上回っていますが、引き続き、水洗化を推進することで、市内の川、水路の水質向上に努めます。
	① 循環型社会 づくりの推 進	資源ごみリサイクル率の向上に努めます。	リサイクル率	クリーンセンター	21.2%	20.8%	20.5%	26.0%	平成28年度と比較して、平成30年度は0.7%減少しました。減少した理由には、資源集団回収量の減少、個人持込ごみの増加が挙げられます。今後、ごみ処理手数料の見直しを予定しており、それに伴い改善される予定です。
		可燃ごみ・不燃ごみ処理量の削減を進めます。	焼却量	クリーンセンター	10,499t/年	10,350t/年	10,446t/年	10,000t/年	平成28年度と比較して、平成30年度は0.5%減少しました。減少した理由には、家庭ごみの収集量の減少が挙げられます。今後、ごみ処理手数料の見直しを予定しており、それに伴い令和5年度には、目標値の10,000t/年を達成できる見込みです。
			埋立量	クリーンセンター	2,185 t/年	2,486t/年	2,296 t/年	2,000t/年	平成28年度と比較して、平成30年度は5.1%増加しました。増加した理由には、事業者持込ごみの増加が挙げられます。今後、ごみ処理手数料の見直しを予定しており、それに伴い改善される予定です。
		使用済小型家電回収品目の拡充をします。	回収品目	クリーンセンター	15品目	22品目	22品目	23品目	平成28年度と比較して、平成30年度は7品目増加しました。令和元年度に1品目（電気（電子）楽器）増加し、目標値を達成できる見込みとなっています。
	② エネルギー 循環の効率 化	公共施設におけるCO2削減に努めます。	削減率	環境課	△3.4% (平成25年度比)	+2.7% (平成25年度比)	△1.5% (平成25年度比)	△10.0% (平成25年度比)	CO2排出量の大きな割合を占める電気、ガスに係る排出量が平成29年度と比較して削減されたため、全体の排出量は減少しました。しかし、全体の約4割を占めるクリーンセンターでの一般廃棄物の焼却に係る排出量が平成25年度に比べて26.3%増加しています。一般廃棄物の処理量を削減するため、市民や事業者に対し、ごみの減量を継続して啓発していきます。
	③ 水質浄化 対策の推進	水洗化率の向上に努めます。	水洗化率	上下水道課	81.24%	82.20%	82.70%	90.00%	検針の際に下水道の接続や合併処理浄化槽の転換を依頼する文書を配布していることに加え、広報で呼びかけをしています。また、合併処理浄化槽の設置に対する補助金を国・県の補助基準額に上乗せすることで水洗化を促進しています。
	④ 健全な生活 環境の保全 対策の推進	空き家・空き地バンクが活用されるよう努めます。	成約件数	市民協働課	29件（累計）	38件（累計）	41件（累計）	100件（累計）	平成30年度末までの成約件数は41件となっており、令和元年度は2件の成約を見込んでいます。年々成約数が減少している理由として、バンクへの登録基準を見直したことにより、物件登録件数が減少したことが考えられます。登録件数増加のため、空き家、空き地所有者へバンク制度の周知を図ります。

第二次瑞浪市環境基本計画(後期)施策進捗状況

基本目標	基本施策	具体的施策	数値説明	担当課	実績値			目標値 (令和5年度)	進捗状況
					平成28年度	平成29年度	平成30年度		
3 瑞浪市らしい、風土を活かし人とのふれあいができる文化環境を創出します		自分のまちに誇りをもてる、魅力のあるまちなみだと感じる市民の割合		都市計画課	45.4%	45.3%	43.7%	53.7%	大湫地区において、景観協議会を設立し、景観計画重点区域の指定に向けた、地域の活動を開始しています。住民アンケートやワークショップの結果を踏まえて、住民意識を反映させた景観維持のためのルール作りを検討します。
	② 瑞浪市らしい地域資源の保全と活用	中山道（大湫宿含む）に関する観光に取組みます。	ボランティアガイド利用者数	商工課	1,131人/年	2,059人/年	1,954人/年	4,500人/年	平成29年度と比較して、平成30年度は5%減少しました。減少した理由は、個人やグループでウォーキングを楽しむ人が増えたことにより、ウォーキングイベントの参加者数が減少したためだと考えられます。ウォーキングイベントや、中山道17宿歩き旅の内容等をブラッシュアップし、参加者の増加を図ります。
		市内の指定文化財の指定件数の増加に努めます。	指定件数	スポーツ文化課	106件 (累計)	107件 (累計)	108件 (累計)	120件 (累計)	平成30年度に1件が市指定文化財に登録されました。しかし、現段階で令和元年度中の登録見込みはありません。
③ 愛着のあるふるさとづくりの推進		文化施設・歴史案内等ボランティアによる講座等の開催により、市民が地域の歴史・文化と親しむ機会の創出に努めます。	ボランティアガイド登録者数	商工課	29人	22人	21人	65人	ボランティアガイド登録者数に大きな変動はありませんので、事務局（地域交流センターときわ）及びかたりべの会（スポーツ文化課）と連携し、情報提供を行う等ボランティアガイドを募集します。
4 市民の誰もが参加でき、継続性のある計画の推進体制を実現します。	① 行政と市民との協働体制の整備	里親制度による、公共施設の美化、保全活動を行う市民活動団体に対する支援を行います。	都市公園登録団体	都市計画課	18団体	17団体	19団体	23団体	平成29年度と比較して、平成30年度は2団体増加しました。登録団体数が増加した理由は、普段公園を利用する団体の新規登録が増えたことによります。現在も市ホームページ等で新規登録団体を募集しており、更なる里親登録団体の増加を目指します。
			市道登録路線	土木課	131路線	124路線	156路線	132路線	平成30年度は日吉区長会で里親制度の紹介やPRチラシの配布を実施し、登録路線が156路線に増加しました。令和元年度は、連合自治会でのPR及び電動草刈機の貸与、草刈刃の支給を始めたため、里親団体の登録数が増加する見込みです。
	② 環境教育・体験学習の推進	環境学習の機会創出に努めます。	環境学習実施回数	環境課	10回/年	9回/年	8回/年	13回/年	出前講座等を自治会や学校等に提案することで、実施回数の増加を目指します。
		環境フェアみずなみを開催することで、市民の環境意識の向上に努めます。	入場者数	環境課	600人/回	700人/回	550人/回	1,600人/回	平成30年度に入場者数が減少したため、令和元年度より健康まつりと合同開催としました。新たな出展者を増やすことで、入場者数の増加に取り組んでいきます。
	自然観察会を開催します。	開催件数	スポーツ文化課	9回/年	9回/年	3回/年	10回/年	自然観察会は主に自然ふれあい館（竜吟の森）にて開催していましたが、開催数が年々減少しています。そのため、幼児園等への出前講座や団体ごとの観察会の開催に取り組んでいきます。	
③ 事業所の環境保全意識の向上		事業所に起因する悪臭や水質汚濁等の苦情に対し、原因及び対策に対する啓発と指導を継続していきます。	苦情件数	環境課	2件/年	6件/年	2件/年	0件/年	臭気を感じる方は個人差があるため、環境基準を超過していない場合でも相談を受けることがあります。環境基準を超過していない場合でも原因者が特定できる場合は、臭気抑制の協力を依頼しています。なお、平成30年度に環境基準を超過した事業所等はありません。